

問題解決スキル		塩田 光重	
----------------	--	--------------	--

配当年次	1年次	配当学期	1学期	科目区分	アドバンスト
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識		
	実践知識	○	問題解決に必要なとされる基本的な思考方法および分析ツールを習得する。
技能	分析解決技能	○	問題解決に必要なとされる分析ツールを事例を通じて応用できる。
	実務技能	○	問題解決のためのツールを使いこなす力を修得する。
	新規事業技能		
態度	倫理観態度		
	企業変革態度		
	地域リーダー態度		
	国際協調態度		

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

問題解決スキル

授業の概要

ビジネスに必要なスキルは、プレゼンテーション、ライティング、コミュニケーションなど多岐にわたるが、本講義では、問題解決に必要なとされる基本的な思考方法、分析ツールを紹介し、ケーススタディを通して解決スキルを習得してもらうことに主眼を置いている。

前半は、システム分析の視点から授業を構成する。後半は、適宜、演習問題を課すことによって理解力を高め、スキルの向上をめざす。

具体的には、KJ法、オペレーションズ・リサーチ、ビジネスモデル、TOCなど、簡単なものからパソコンを利用したいくつかの分析手法を取り上げる。

教科書

プリントまたは冊子を配布

参考書

平山克己（2008）『あほ賢システムのおはなし』SCC ¥2808
藤澤克樹 他（2011）『Excelで学ぶOR』Ohmsha ¥3456
高井英造 他（2002）『問題解決のためのオペレーションズリサーチ入門』日本評論社 ¥1944

川喜田二郎（2009）「発想法」/「続・発想法」中公新書 ¥713/¥886

エリヤフゴールドラット著、三本木亮訳（2001年）『ザ・ゴール』ダイヤモンド社 ¥1728

授業計画・内容

講義方式に加え、グループワーク、パソコン演習、ケース・スタディを組み入れることで知識の理解を深め、かつ思考能力を涵養する。各講義内容は以下の通り

- 1回 問題解決手法とは 【ブレインストーミング】
- 2回 KJ法について 【KJ法】
- 3回 KJ法演習 【ラベル作り】
- 4回 KJ法演習 【グルーピング】
- 5回 表計算ソフトによる図解化法 【グラフ化】 【統計的分析】
- 6回 表計算ソフトによる図解化法演習 【グラフ化】 【統計的分析】
- 7回 オペレーションズ・リサーチとは 【PERT】 【アクティビティ】 【プロジェクト管理】
- 8回 オペレーションズ・リサーチ演習 【最適化】 【線形計画法】
- 9回 ビジネスモデルとは 【IDEF】 【アクティビティ】
- 10回 ビジネスモデル演習 【Activity Based Costing】 【管理会計】
- 11回 制約条件の理論 (Theory Of Constraint) とは 【制約条件】 【ボトルネック】 【ドラムバッファロープ】
- 12回 IT産業の歴史と今後
- 13～15回 演習 Reading Assignment 発表 【ケース・スタディ】

成績評価の方法 平常の学習状況 50% 課題レポート(個人の課題のプレゼンを含む) 50%

事前・事後学習の内容 自主練習を行い、授業の内容を反復すること。

履修上の注意 ノートパソコンを持参してもらう場合があります。
指定された範囲の予習と、授業内容の復習を行うこと。

担当者からのメッセージ

キーワード KJ法、オペレーションズ・リサーチ、ビジネスモデル、TOC